

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	西條 圭
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3415
事務事業名	4160 鳥獣被害防止対策事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	15012100 農業の活性化						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費					
	事業	020000 鳥獣被害防止対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
地域、集落の現状と出没鳥獣の全体を把握し、最も有効な手立て（電気柵、わな、檻、緩衝帯整備など）を検討し、鳥獣被害を最小限に留め、農業者の営農意欲の持続に勤める。				<ul style="list-style-type: none"> ・サル・イノシシ用の電気柵・防護柵購入 ・緩衝帯整備に関する事業 ・有害鳥獣駆除業務 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
電気柵 1.69km 緩衝帯整備 0.6ha	電気柵 1km 緩衝帯整備 1ha
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		21,276	20,807
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	842	3,850
	地方債	0	0
	その他	380	380
一般財源		20,054	16,577
人員数 (人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	0.9	0.9
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	6,271.2	6,271.2
	嘱託職員	2,834.1	2,834.1
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,105.3	9,105.3
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		30,381.3	29,912.3

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4,384	有害鳥獣駆除報奨金4384
10節 需用費	427	野ねずみ駆除実施薬剤432 ほか
12節 委託費	1,581	猟友会有害鳥獣駆除委託1581
14節 工事請負費	3,036	電気柵設置工事1551 電気柵監視システム設置工事1485
18節 負担金補助及び交付金	2,518	須坂市有害鳥獣駆除対策協議会負担金2454 狩猟免許取得奨励補助金・猟友会補助金64
その他	9,330	電気柵材料費ほか

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	3,000	有害鳥獣駆除報奨金3,000ほか
10節 需用費	462	野ねずみ駆除実施薬剤432 ほか
12節 委託費	1,600	猟友会有害鳥獣駆除委託1,600
14節 工事請負費	3,214	電気柵設置工事1,700 電気柵監視システム設置工事1,514
18節 負担金補助及び交付金	2,604	須坂市有害鳥獣駆除対策協議会負担金2,500 狩猟免許取得奨励補助金54、猟友会補助金50
その他	9,927	電気柵材料費7,500

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	農作物被害軽減のために有害鳥獣対策は必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	電気柵の設置、維持管理及び有害鳥獣の捕獲、有害鳥獣を誘引しない環境整備の3本柱で総合的に対応している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	市と地域住民との協働方式で電気柵の設置、維持管理を行っている。 市猟友会へ有害鳥獣の駆除を委託している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市と地域住民との協働で電気柵の新設、維持管理を実施した。
電気柵の電圧状況確認作業の軽減を図るため、電気柵監視システムの設置を進めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>農地だけでなく市全体の安心安全な住環境の維持につながっている事業。 設置地域住民の負担をどう軽減していくかが課題。 多様な人がかかわっていけるような体制が理想。</p>		<p>市街地も含めた市民の生命・財産を守るため、猟友会にも協力いただく中で、地域と協働で効果的な対策を進めていく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	